

鶴崎校区社会福祉協議会

地 域 福 祉 活 動 計 画

鶴崎校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

鶴崎校区では、自治会や民生委員児童委員、公民館、婦人会、ボランティア等の各種団体の持つ機能を組み合わせて、誰もが住み慣れた地域でお互いが支え合い助け合うことにより、安心していきいきと生活できるまちづくりをめざし、地域住民と協力して小地域福祉ネットワーク活動等の地域福祉活動を進めてきました。

このようななか、国においては、「我が事・丸ごと」の地域共生社会実現に向けた地域福祉の推進の概念が提唱されるなど、社会福祉を取り巻く環境は大きく変動しています。

こうした状況をふまえ、地域が抱える問題に対応していくためには、専門職のみならず、地域社会のつながりが重要であり、住民同士の支え合い、助け合う取り組みを強めていくことが期待されています。

そこでこの度、小地域福祉ネットワーク活動の一環として実施したふれあい対象者に対する実態調査を基に、鶴崎校区で福祉活動に携わっている関係の方々にご協力をいただき、「鶴崎校区社会福祉協議会地域福祉活動計画」としてここに策定致しました。計画には、目標として「ふれあいサロン活動を応援しよう」、「校区社協活動への協力者を増やそう」、「誰もが気軽に寄れる場づくりに取り組もう」の3つを掲げ、校区が抱えている課題の解決につながる取り組みを推進していくことにしております。

今後この計画が、鶴崎校区の福祉活動の発展に繋がることを祈念すると共に、併せて、この計画を策定するに当たってご尽力いただきました関係各位、並びにご意見をお寄せいただきました方々に対しまして深甚なる謝意を表し、策定に当たってのご挨拶と致します。

鶴崎校区社会福祉協議会
会長 小山 朝雄

目 次

第1章 はじめに	1
(1)計画策定の背景	1
(2)大分市社会福祉協議会とは	1
(3)校(地)区社会福祉協議会とは	1
第2章 鶴崎校区について	2
(1)鶴崎校区の概要	2
(2)校(地)区社会福祉協議会について	2
(3)人口推移	2
(4)ふれあい活動(小地域福祉ネットワーク活動)の現状	3
(5)高齢者サロンについて	5
(6)老人会について	6
第3章 ふれあい対象者に関する実態調査	7
基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問	8
基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問	10
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問	12
基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問	15
第4章 鶴崎校区の活動計画と策定までのプロセス	16
(1)目標と具体的取り組み	16
(2)計画策定メンバー	19
(3)計画策定経過	20
第5章 資料編	21
(1)他の活動紹介	21
(2)実態調査票	26
(3)実態調査集計結果	29

第1章 はじめに

(1) 計画策定の背景

鶴崎校区は、大分市の北東部、大野川・乙津川沿いに位置しており、校区には大野川下流域の臨界工業地帯とそれに隣接し背後地とした商業地域、住宅地域があります。臨海部にはコンビナート群が立ち並んでいますが、海、山、川と自然に恵まれた地域でもあります。

古くは、江戸時代、水運便を利用し、熊本藩の瀬戸内海への拠点確保のための港町として栄え、多くの人や物の出入りがありました。寺子屋や私塾も多く設立され、毛利空桑等多くの偉人を輩出しています。また、鶴崎踊りに代表されるような伝統行事が数多く伝承されており、中でも鶴崎校区の3大祭りと称される「剣八幡社のけんか祭り」「法心寺の二十三夜祭」「本場鶴崎踊大会」などが開催されています。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらにたく育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「鶴崎校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・鶴崎校区を目指してまいります。

(2) 大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社会福祉協議会は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

(3) 校(地)区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に45の校(地)区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動(小地域福祉ネットワーク活動)や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章 鶴崎校区について

(1) 鶴崎校区の概要

◇鶴崎校区は、大分市の北東部、大野川・乙津川沿いに位置しており、校区には大野川下流域の臨界工業地帯とそれに隣接し背後地とした商業地域、住宅地域があります。臨海部にはコンビナート群が立ち並んでいますが、海、山、川と自然に恵まれた地域でもあります。



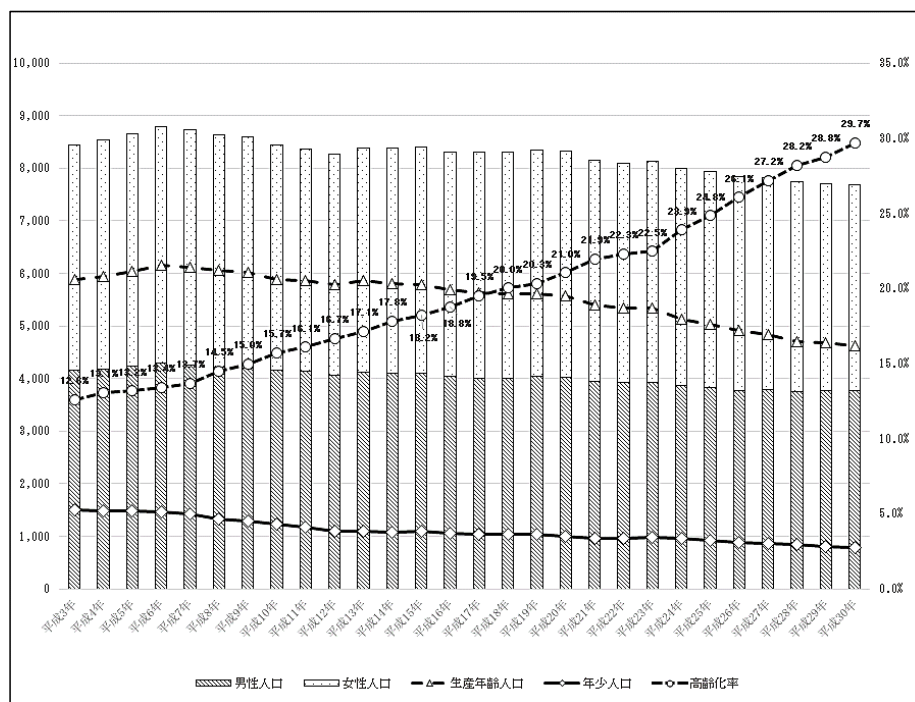
◇13の自治会区と20の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

(2) 校(地)区社会福祉協議会について

◇昭和54年に設立されました。

(3) 人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代9月時点※一部3月）

(4)ふれあい活動(小地域福祉ネットワーク活動)の現状

- ①ふれあい対象者 288人 ③協力者のいない対象者 84人
 ②ふれあい協力者 228人 ④緊急連絡先のない対象者 8人
 ⑤協力者・緊急連絡先が共がない対象者 4人

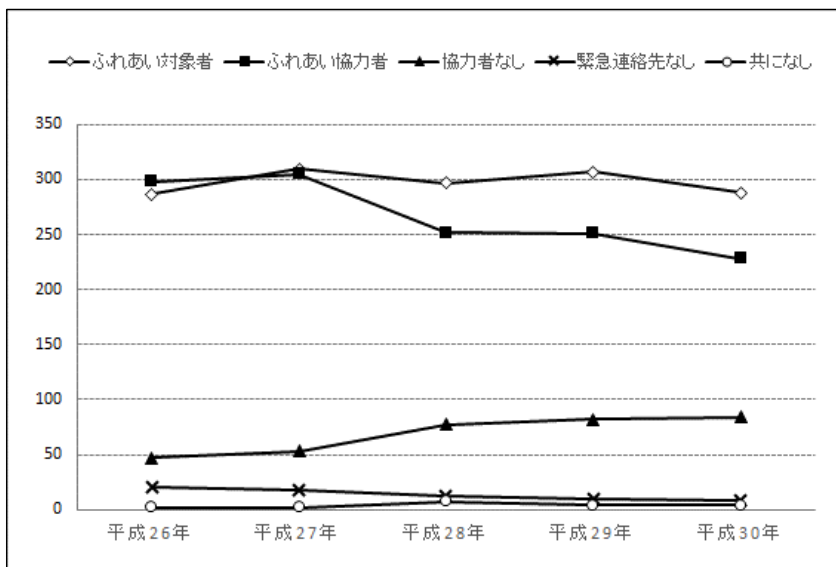
(平成30年4月1日現在)

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	山川	6	3	3	0	0	1	三軒町	7	8	1	0	0
2	三軒町	7	8	1	0	0	2	山川	6	3	3	0	0
3	国宗	30	35	6	2	2	3	国宗、横町、七軒町、城町	30	35	6	2	2
4	堀川本町	12	3	5	0	0	4	堀川本町	12	3	5	0	0
5	西町	3	0	3	0	0	5	西町	3	0	3	0	0
6	中央区	43	36	17	1	1	6	中央区(南) ※197号線を境にして南側	19	11	9	1	1
							7	中央区(北) ※197号線を境にして北側	22	25	6	0	0
7	寺司一	10	5	5	0	0	8	寺司1区	12	5	7	0	0
8	寺司二	19	16	2	0	0	9	寺司2区東 (西鶴崎1丁目、3丁目)	10	8	2	0	0
							10	寺司2区西 (西鶴崎2丁目、大字鶴崎)	9	9	0	0	0
9	下鶴崎一	16	7	11	0	0	11	下鶴崎1区	16	7	11	0	0
10	下鶴崎二	8	5	4	0	0	12	下鶴崎2区	8	5	4	0	0
11	小中島	25	21	4	0	0	13	小中島1丁目5～8番 小中島2丁目	12	12	2	0	0
							14	小中島1丁目1～4 小中島3丁目1～5	13	10	2	0	0
12	徳島	60	50	14	2	1	15	徳島区南 (徳島1丁目2～7、2丁目1～2、5～11)	16	14	4	0	0
							16	徳島区北 (徳島1丁目8、3丁目1～2、7～20)	18	19	3	1	0
							17	徳島区中 (徳島2丁目3～4、12～14、3丁目3～6)	26	18	7	1	1
13	乙津	49	40	9	3	0	18	乙津港町	15	7	1	3	0
							19	乙津町 コスモシティ皆春	17	14	6	0	0
							20	乙津地区(大字乙津)	17	22	2	0	0

鶴崎地区のふれあい対象者推移

(平成30年4月1日現在)

鶴崎校区	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ふれあい対象者	287	310	297	307	288
ふれあい協力者	298	305	252	251	228
協力者なし	47	53	77	82	84
緊急連絡先なし	20	18	12	10	8
共になし	2	2	7	4	4



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方をお願いしています

(5) 高齢者サロンについて

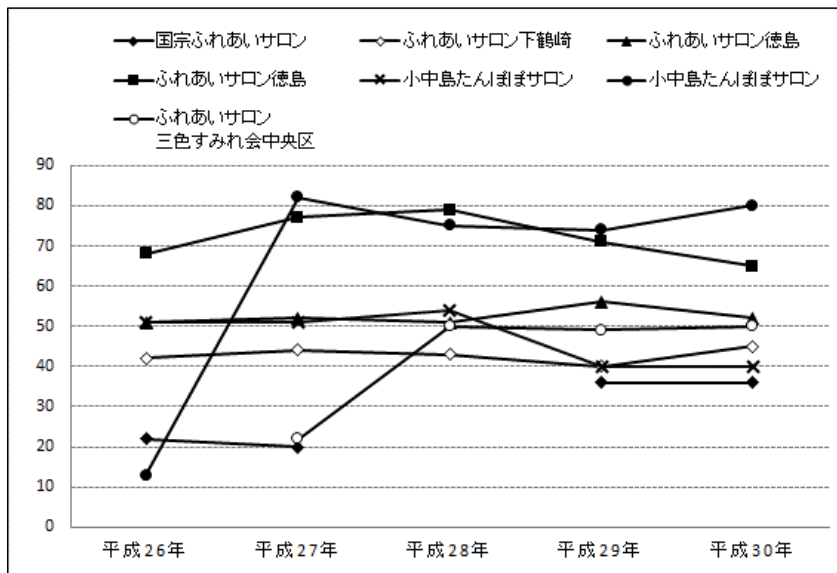
鶴崎校区内にある高齢者サロンは7ヶ所です。

(平成30年4月1日現在)

サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
国宗ふれあいサロン	国宗公民館	25	36	H16.4.26
ふれあいサロン下鶴崎	下鶴崎1区公民館	48	45	H24.2.29
乙津ふれあいサロン	乙津公民館	40	52	H24.11.30
ふれあいサロン徳島	徳島公民館	39	65	H25.5.29
ふれあいサロン寺司	寺司公民館	43	40	H26.3.29
小中島たんぽぽサロン	小中島公民館	47	80	H26.5.31
ふれあいサロン 三色すみれ会中央区	鶴崎校区公民館	12	50	H27.7.21

鶴崎校区での高齢者サロン参加者の推移

サロン名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
国宗ふれあいサロン	22	20	-	36	36
ふれあいサロン下鶴崎	42	44	43	40	45
乙津ふれあいサロン	51	52	51	56	52
ふれあいサロン徳島	68	77	79	71	65
ふれあいサロン寺司	51	51	54	40	40
小中島たんぽぽサロン	13	82	75	74	80
ふれあいサロン 三色すみれ会中央区	-	22	50	49	50
ふれあいサロン 三色すみれ会堀川本町	-	12	-	-	-
ふれあいサロン 三色すみれ会西町	-	7	-	-	-



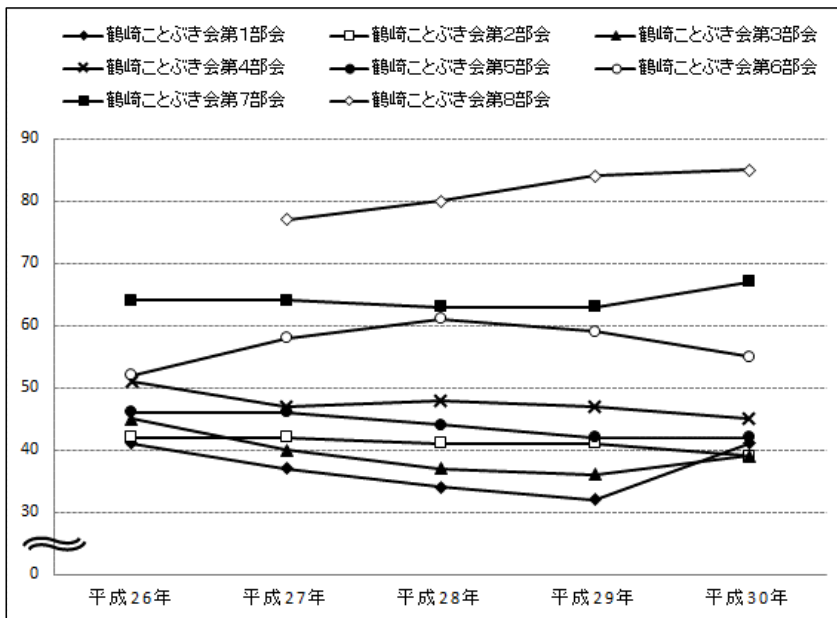
(6) 老人会について

鶴崎校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは8ヶ所あります。

(平成30年4月1日現在)

老人クラブの参加者推移

	老人クラブ名	自治会	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	鶴崎ことぶき会第1部会	山川	41	37	34	32	41
2	鶴崎ことぶき会第2部会	三軒町	42	42	41	41	39
3	鶴崎ことぶき会第3部会	堀川本町、西町、中央区	45	40	37	36	39
4	鶴崎ことぶき会第4部会	寺司一、寺司二	51	47	48	47	45
5	鶴崎ことぶき会第5部会	国宗	46	46	44	42	42
6	鶴崎ことぶき会第6部会 徳島老人クラブ	徳島	52	58	61	59	55
7	鶴崎ことぶき会第7部会	乙津	64	64	63	63	67
8	鶴崎ことぶき会第8部会 小中島老人会	小中島	-	77	80	84	85



第3章 ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、鶴崎校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成30年7月中旬～平成30年8月末
対 象	鶴崎校区内のふれあい対象者 307名 (平成30年7月1日現在の対象者数)
回答者数	253名
回答率	82%
調査協力者	鶴崎校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この4つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

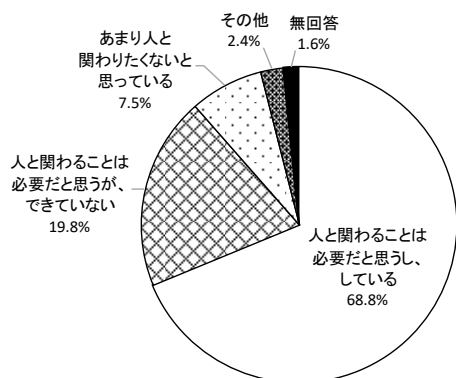
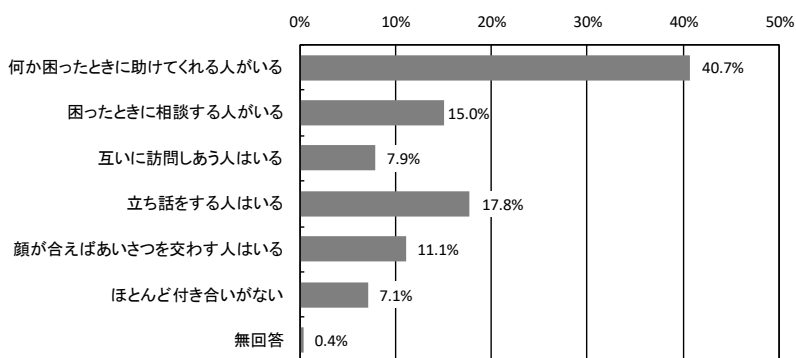
近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 40.7%と最も高く、次いで、「立ち話をする人はいる」が 17.8%、「困ったときに相談する人がいる」が 15.0%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」が 7.1%となっている。

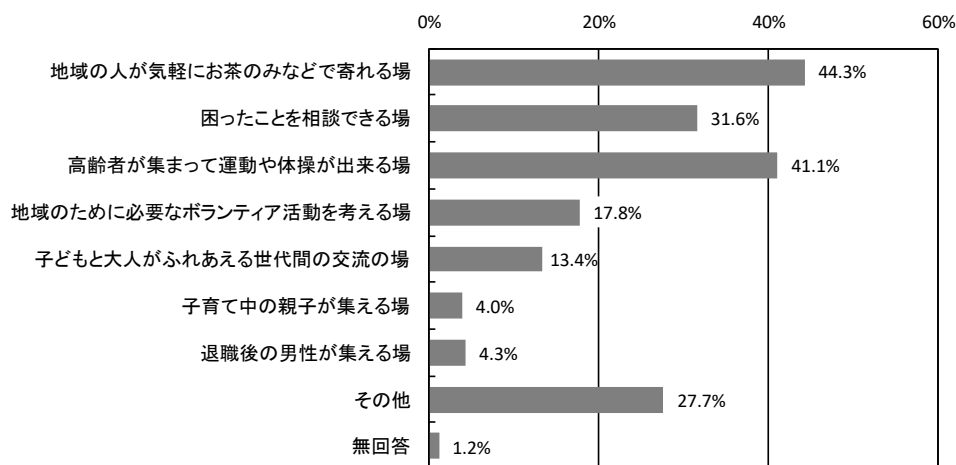
近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 68.8%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 19.8%となっている。

なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 7.5%となっている。



必要と思われる「地域住民がつながる場」(問 17)

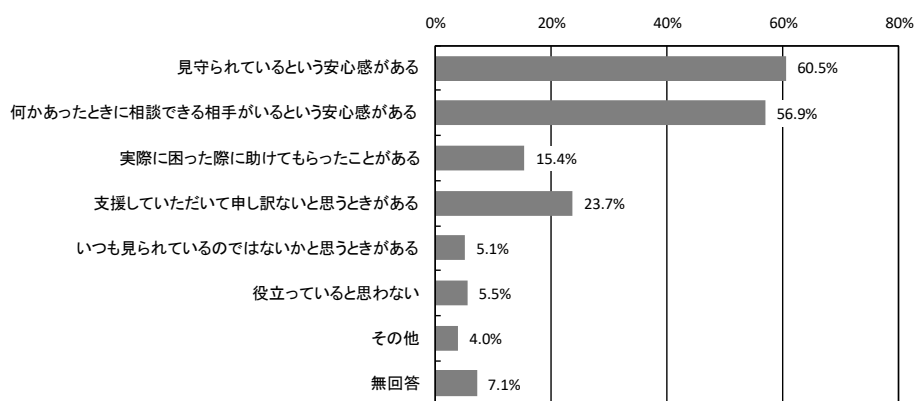
必要と思われる「地域住民がつながる場」については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が44.3%で最も高くなっている。また、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が41.1%、「困ったことを相談できる場」が31.6%、「地域のために必要なボランティア活動を考える場」が17.8%となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

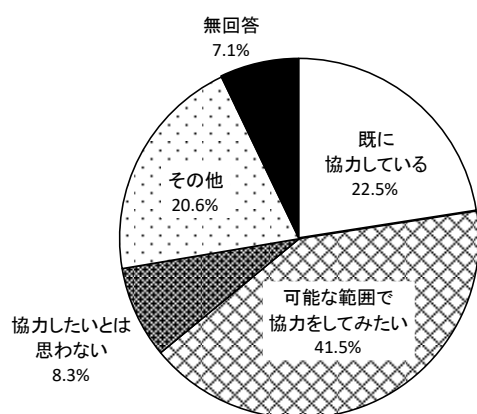
「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「見守られているという安心感がある」が60.5%で最も高く、次いで「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が56.9%となっている。



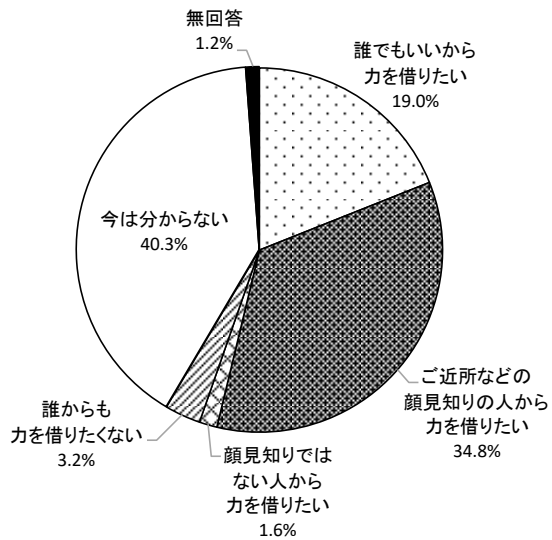
地域の行事や活動に協力してみたいと思うか(問 20)

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が22.5%、「可能な範囲で協力してみたい」が41.5%、「協力したいとは思わない」が8.3%、「その他」が20.6%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか(問 10)

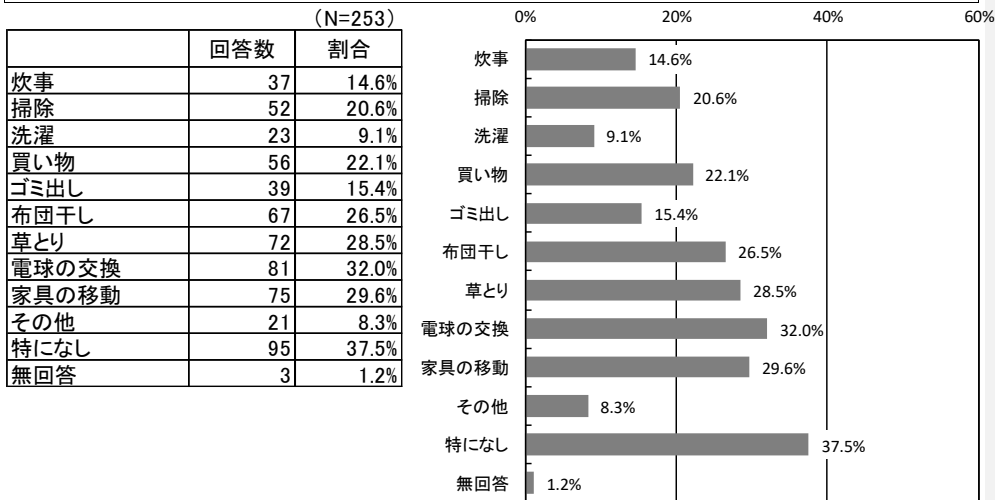
日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答えるの方が多い傾向にある。



基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

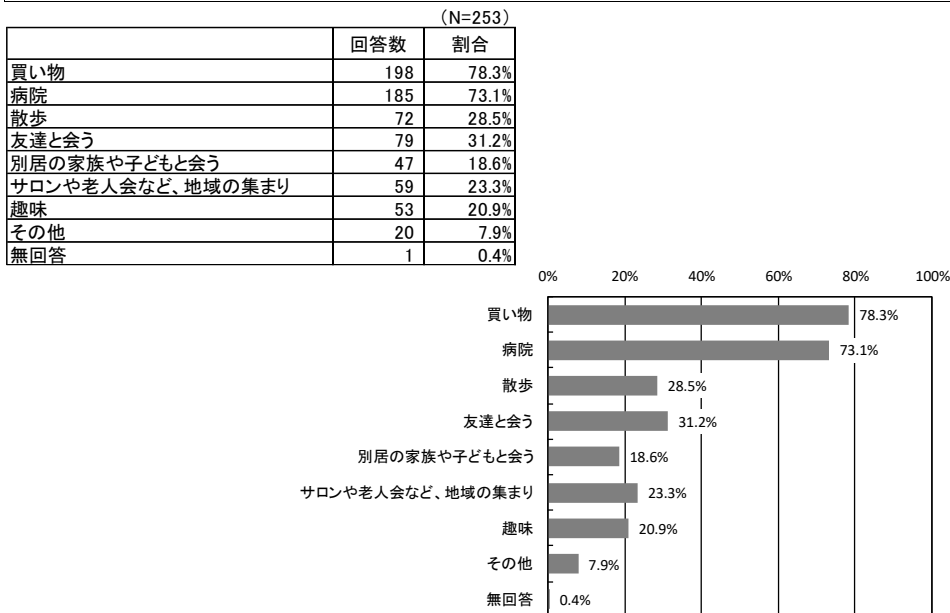
日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「特になし」が37.5%で最も高く、次いで「電球の交換」32.0%、「家具の移動」29.6%、「草とり」28.5%となっている。



外出の理由(問 11)

外出の理由については、「買い物」が78.3%となっており最も高く、次いで「病院」73.1%、「友達と会う」31.2%、「散歩」28.5%となっている。



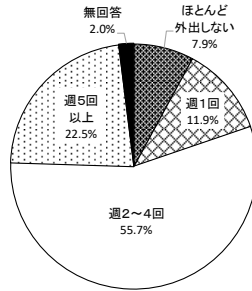
外出の頻度(問 12)

外出の頻度については、「週 2~4 回」が 55.7%と最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 22.5%と高く、「週 1 回」は 11.9%、「ほとんど外出しない」は 7.9%となっている。

コメントの追加 [u1]: 「無回答」以外の結果を順位の高い順に述べる

(N=253)

	回答数	割合
ほとんど外出しない	20	7.9%
週 1 回	30	11.9%
週 2~4 回	141	55.7%
週 5 回以上	57	22.5%
無回答	5	2.0%



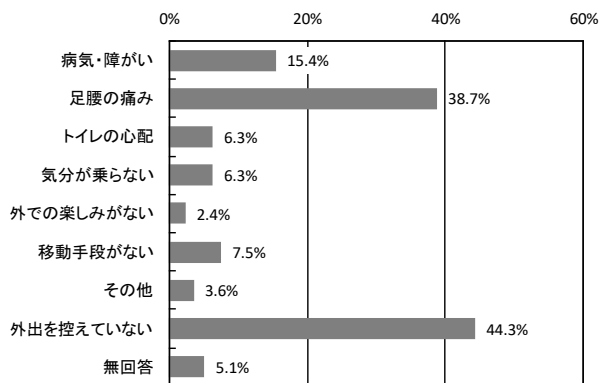
外出を控える理由(問 13)

外出を控える理由では、「足腰の痛み」38.7%が高い割合となっている。ついで、「病気・障がい」は 15.4%、「移動手段がない」は 7.5%となっている。
 なお、「外出を控えていない」については 44.3%となっている。

コメントの追加 [u2]: 「外出を控えていない」「その他」「無回答」以外で順位のの高かったものを順に3つ述べる

(N=253)

	回答数	割合
病気・障がい	39	15.4%
足腰の痛み	98	38.7%
トイレの心配	16	6.3%
気分が乗らない	16	6.3%
外での楽しみがない	6	2.4%
移動手段がない	19	7.5%
その他	9	3.6%
外出を控えていない	112	44.3%
無回答	13	5.1%



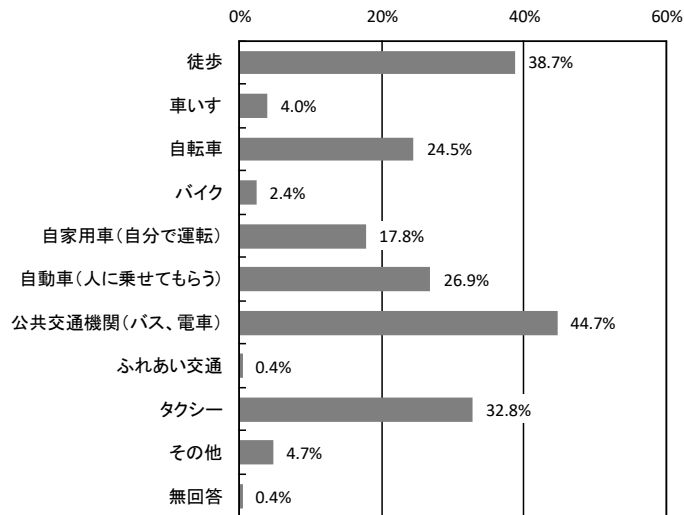
主な外出の手段(問 14)

主な外出の手段については、「公共交通機関（バス、電車）」が 44.7%で最も高く、次いで「徒歩」38.7%、「タクシー」32.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」26.9%の順となっている。

コメントの追加 [u3]: 「無回答」以外で順位の高かったものを順に4つ述べる

(N=253)

	回答数	割合
徒歩	98	38.7%
車いす	10	4.0%
自転車	62	24.5%
バイク	6	2.4%
自家用車(自分で運転)	45	17.8%
自動車(人に乗せてもらう)	68	26.9%
公共交通機関(バス、電車)	113	44.7%
ふれあい交通	1	0.4%
タクシー	83	32.8%
その他	12	4.7%
無回答	1	0.4%

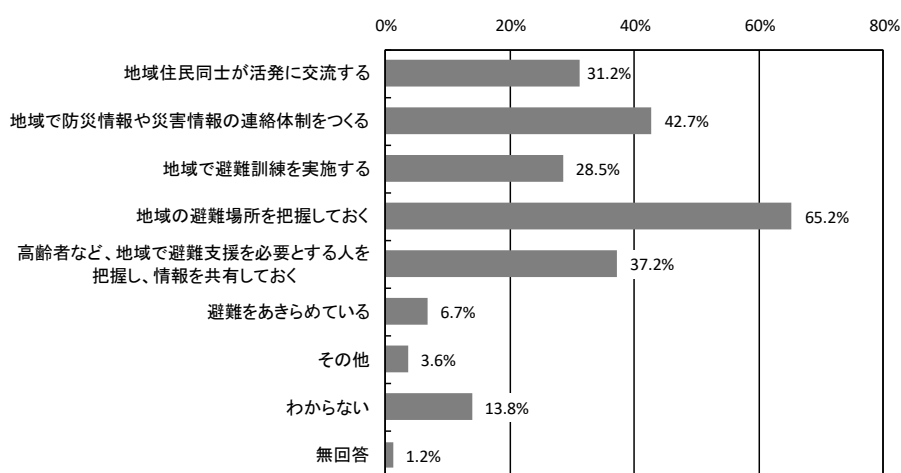


基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が65.2%で最も高く、次いで「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」42.7%、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」37.2%、「地域住民同士が活発に交流する」31.2%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は6.7%、「わからない」は13.8%となっている。



第4章 鶴崎校区の活動計画と策定までのプロセス

(1) 目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

鶴崎校区社協の目標 1

ふれあいサロン活動を応援しよう。

高齢者を対象とした「ふれあいサロン」は、地域の身近な場所における住民どうしの交流の場であり、そこで行う活動は健康づくりや生きがいづくりに効果があります。

また、交流を通じ地域での顔見知りが増えることにより、災害時の声かけなどにも役立つことから、ふれあいサロン活動を支援する取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- ふれあいサロン運営者を対象とした情報交換の場の開催。
- ふれあいサロン間の交流を支援する取り組み方法の検討、実施。
- 各種団体と連携し、ふれあいサロンへの協力者を増やす取り組みの検討、実施。
- 見守り活動を通じたふれあいサロンの参加者を増やす取り組みの実施。

策定までの過程

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- ・サロンに参加していない人が気になります。
- ・男性の参加が少ないので、声かけをしていますが、参加する男性はいつも同じ顔ぶれです。
- ・サロン行事がマンネリ化するという悩みがあります。企画をする人が男性から女性に代わると、グランドゴルフや軽スポーツのほかに、勾玉づくりや切り絵といった行事が加わり、活動の幅に広がりが出たように思います。

～提案・対応策～

- ・サロンの運営を行っている側としては、活動のマンネリ化を防ぐ対策として、他のサロンの活動内容を聞く場があるといいですね。
- ・サロン間の情報交換の場で、他のサロンが行っているプログラムを知ることで、誰に依頼したらよいかといった情報も得ることが出来ると思います。
- ・ふれあい対象者への訪問時には、サロンへの参加呼びかけは行っていますが、出てきてくれない人も数人はいます。

校区社協活動への協力者を増やそう。

校区内の地域福祉活動を推進する校区社協活動を継続するためには、活動に協力してくれる人材が不可欠です。そこで、より多くの住民に校区社協活動に協力してもらえるための取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 協力してほしい活動及び活動内容の検討。
- 募集方法の検討、実施。
- 広報紙などを活用し、地域活動情報の発信を行い、地域で行う福祉活動への参加意識の醸成を図る。

策定までの過程

《「話し合い」の場での意見》

～現状・課題～

- ・ 行事などをする際、民生委員に負担がかかってしまう状況にあると感じています。
- ・ 婦人会が組織化されている一部の地域を除き、校区社協活動へ協力してくれる主な担い手は自治会長や民生委員・児童委員となっています。
- ・ 校区ボランティアとして活動しているのは、元民生委員等の地域福祉活動経験者の方々です。
- ・ 民生委員の代わりに訪問をする人が出来たとしても資格がなかったら訪問は難しいと思います。
- ・ 今は、定年退職する年齢が上がり、民生委員・児童委員や自治委員を引き受けてくれる人を探すのが難しいです。

～提案・対応策～

- ・ 民生委員の負担を少しでも減らすために自治会ごとに協力員をつけてくれるとよいのではないのでしょうか。
- ・ 自治会から選出された新たな担い手となる人には活動費を出すことも考える必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 新たな担い手の活動内容の一つとして、校区社協の行事への協力であれば、自治会長は、すでに行事に協力しており、状況も分かっているので、自治区内の人に手伝いを依頼することは可能ではないかと思います。

鶴崎校区社協の目標3

誰もが気軽に寄れる場づくりに取り組もう。

話し合いの場での意見や実態調査結果から、地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場を望む声が多かったことから、住民が集える場づくりに取り組みます。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 取り組みを検討するメンバーを決める。
- どんな集いの場にするのか、開催形態の検討実施。
- 参考となる他地域の活動の情報収集。
- 運営に必要な費用や場所の検討。
- 運営に協力してくれる人材の募集の検討、実施。
- 運営における他団体との連携。

策定までの過程

《「話し合い」の場が出た意見》

～現状・課題～

- ・サロンのように開催日時が決まっている集いの場ではなく、高齢者等が気軽に立ち寄れて、好きな飲み物などを持ち寄り、お茶を飲んだり、おしゃべりできる場所があるといいなと思います。校区での居場所づくりのきっかけになるのではないかと思います。
- ・買い物や病院などで外出される高齢者の方の休憩場所として利用してくれる場になればいいと思います。
- ・集いの場に人が寄ることで、困りごとを把握することができると思います。

～提案・対応策～

- ・場の開催にあたっては、開催内容や、必要経費、協力者のことについて検討する必要があります。
- ・集いの場では、カラオケ等の特定の行事を開催すると、興味関心のある人しか利用しなくなることも考えられます。そこで、特に行事を行わず、利用者側からの声を聞きながら、内容や必要なことについて検討してはどうだろうか。
- ・開催場所を校区公民館にした場合は、必要な経費は高額にならないのではないかと思います。
- ・校区が広いから、集いの場を校区内に複数作るのが理想だとは思いますが、難しいことだと思います。そこで、まずは、一ヶ所（校区公民館）で取り組んでみて、利用者側からもっと身近な場所で作ってほしいという要望が出たら検討してみてもいいでしょうか。

(2)計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	鶴崎校区社会福祉協議会	会長	小山 朝雄
2	鶴崎校区社会福祉協議会	副会長（地域福祉推進委員）	田中 恵美子
3	鶴崎校区社会福祉協議会	事務局長	山本 美恵子
4	鶴崎校区自治会連合会	会長（寺司一）	船木 顕司
5	鶴崎校区自治会連合会	自治会長（中央区）	袖 清一
6	鶴崎校区老人クラブ	校区会長	佐々木博三
7	鶴崎校区民生委員児童委員協議会	会長（寺司2区東）	山本 恵子
8	鶴崎校区民生委員児童委員協議会	副会長 (小中島1丁目1~4、3丁目1~5)	実山美津子
9	鶴崎校区ボランティアの会	会長	安部 泰史
10	ふれあいサロン	ふれあいサロン下鶴崎代表	工藤 義夫
11	鶴崎校区公民館	館長	川副 真人

(3) 計画策定経過

開催日	内容
平成30年 5月9日(水) 14:00	事業実施説明
5月25日(金) 15:00	総会にて地域福祉活動計画策定の承認
6月1日(金)～6月30日(土)	調査対象者整備活動
7月11日(水) 14:00	鶴崎校区社協事務局協議
7月14日(土) 11:30	調査員説明会
7月15日(日)～8月31日(金)	調査期間及び回収
9月7日(金) 9:30	鶴崎校区社協事務局協議
12月5日(水) 10:00	鶴崎校区社協事務局協議
12月8日(土) 13:30	実態調査結果報告(鶴崎校区民児協定例会)
平成31年 1月11日(金) 16:00	鶴崎校区社協事務局協議
2月8日(金) 10:00	鶴崎校区社協事務局協議
2月20日(水) 10:00	第1回話し合い(実態調査報告等)
3月8日(金) 13:30	鶴崎校区社協事務局協議
3月13日(水) 10:00	第2回話し合い(地域課題の把握、課題出し等)
4月12日(金) 10:00	鶴崎校区社協事務局協議
4月17日(水) 10:00	第3回話し合い(活動目標の策定)
令和元年 5月10日(金) 10:00	鶴崎校区社協事務局協議

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。
今後とも、鶴崎校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますようお願い致します。

第5章 資料編

(1)他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課 権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00） 1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日 1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度 12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度 171カ所（開催カ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課 権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度 11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円 ※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費 19,800円 ・利用料収入 16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間 108時間40分
誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会 あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー1杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。 ※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。 ※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会 元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ 53回開催 利用者数796名 食事会 6回開催 利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 (地域貢献事業の一環) 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人 龍和会 特別養護老人ホーム 寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良 ※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料 ※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用1回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター 久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター 久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財 源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名 支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】																	
実施主体	NPO法人 中原たすけあい（佐賀県）																
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援																
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内																
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員																
利用方法	申し込み																
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）																
財 源	（平成27年度） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福祉有償運送</th> <th>無償運送(もやい号)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>2,002千円</td> <td>278千円</td> <td>2,280千円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>3,600千円</td> <td>799千円</td> <td>4,399千円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>-1,598千円</td> <td>-521千円</td> <td>-4,399千円</td> </tr> </tbody> </table> ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん		福祉有償運送	無償運送(もやい号)	合計	収入	2,002千円	278千円	2,280千円	支出	3,600千円	799千円	4,399千円	差引	-1,598千円	-521千円	-4,399千円
	福祉有償運送	無償運送(もやい号)	合計														
収入	2,002千円	278千円	2,280千円														
支出	3,600千円	799千円	4,399千円														
差引	-1,598千円	-521千円	-4,399千円														
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）																

(2)実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問1】あなたの性別を教えてください。

- 1) 男性 2) 女性

【問2】あなたの年齢を教えてください。

- 1) 50歳未満 2) 50~59歳 3) 60~64歳 4) 65~69歳
5) 70~74歳 6) 75~79歳 7) 80~84歳 8) 85歳以上

【問3】居住形態を教えてください。

- 1) 一軒家(一戸建て)・持ち家 2) 一軒家(一戸建て)・借家
3) 集合住宅・持ち家 4) 集合住宅・借家 5) 公営住宅
6) その他()

【問4】家族構成を教えてください。

- 1) ひとり暮らし 2) 夫婦のみ 3) 子どもと同居 4) 兄弟・親族と同居
5) その他()

【問5】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

- 1) 1年未満 2) 1年以上~3年未満 3) 3年以上~5年未満
4) 5年以上~10年未満 5) 10年以上~20年未満 6) 20年以上

【問6】あなたの健康状態はどうか。(Oはいくつでも)

- 1) 健康である 2) 通院している 3) 通院していないが、体調がすぐれない
4) 歩くのが不自由 5) 寝たきり状態
6) その他()

日常生活についてお尋ねします。

【問7】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。(Oはいくつでも)

- 1) 炊事 2) 掃除 3) 洗濯 4) 買い物 5) ゴミ出し
6) 布団干し 7) 草とり 8) 電球の交換 9) 家具の移動
10) その他()
11) 特になし

コメントの追加 [u4]:【意見】

“草刈り”より“草とり”に苦勞している人が多い

【問8】その他に、困ったことがあれば教えてください。(Oはいくつでも)

- 1) 医療や介護のこと 2) 経済的なこと 3) 地域の人とのつきあい
4) その他() 5) 困っていることはない

【問9】困った時に相談する相手はいますか。(Oはいくつでも)

- 1) 家族・親族 2) 友人・知人 3) 自治会長 4) 民生委員
5) ふれあい協力者 6) 専門家(医師、地域包括支援センターなど)
7) その他() 8) 相談できる人はいない

【問10】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

- 1) 誰でもいいから力を借りたい
2) ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
3) 顔見知りではない人から力を借りたい
4) 誰からも力を借りたくない
5) 今は分からない

コメントの追加 [u5]: “ご近所などの”を文言として消して、縮めてはどうか

・①借りたい②借りたくない③今はわからないの3つでどうか

日常的な外出についてお尋ねします

【問11】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。(〇はいくつでも)

- 1) 買い物 2) 病院 3) 散歩 4) 友達と会う 5) 別居の家族や子どもと会う
6) サロンや老人会など、地域の集まり 7) 趣味 8) その他 ()

【問12】お出かけの頻度はどの位ですか。

- 1) ほとんど外出しない 2) 週1回 3) 週2~4回 4) 週5回以上

【問13】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

- 1) 病気、障がい 2) 足腰の痛み 3) トイレの心配 4) 気分が乗らない
5) 外での楽しみがない 6) 移動手段がない 7) その他 ()
8) 外出を控えていない

【問14】外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1) 徒歩 2) 車いす 3) 自転車 4) バイク
5) 自家用車(自分で運転) 6) 自動車(人に乗せてもらう)
7) 公共交通機関(バス、電車) 8) ふれあい交通 9) タクシー
10) その他 ()

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問15】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

- 1) 何か困ったときに助けてくれる人がいる 2) 困ったときに相談する人がいる
3) 互いに訪問しあう人はいる 4) 立ち話をする人はいる
5) 顔が合えばあいさつを交わす人はいる 6) ほとんど付き合いがない

【問16】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

- 1) 人と関わることは必要だと思うし、している
2) 人と関わることは必要だと思うが、できていない
3) あまり人と関わりたくないと思っている
4) その他 ()

【問17】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1) 地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場 2) 困ったことを相談できる場
3) 高齢者が集まって運動や体操が出来る場
4) 地域のために必要なボランティア活動を考える場
5) 子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
6) 子育て中の親子が集える場 7) 退職後の男性が集える場
8) その他 ()

コメントの追加 [u6]:【意見】

- ・問13と問14をまとめることはできないか
⇒“実態”と“意識”を分けて聞きたい
・単回答だったが、複数選択している人が多かったため、無回答扱いになった人が多かった。
⇒聞き方を見直し。“一番親しい”を追加

コメントの追加 [u7]: 実態調査の対象者がほぼ高齢者なので、結果的にも高齢者関係の選択率が高くなった。選択肢の見直しをしてもいいかも。

コメントの追加 [u8]:【意見】

- ・女性のことは聞かないのか
⇒男性のほうの人が人と関わらない・・・という視点の選択肢も必要では

【問18】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1) 地域住民同士が活発に交流する
- 2) 地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
- 3) 地域で避難訓練を実施する
- 4) 地域の避難場所を把握しておく
- 5) 高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
- 6) 避難をあきらめている
- 7) その他 ()
- 8) わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問19】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。

(〇はいくつでも)

- 1) 見守られているという安心感がある
- 2) 何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
- 3) 実際に困った際に助けてもらったことがある
- 4) 支援していただいて申し訳ないと思うときがある
- 5) いつも見られているのではないかと思うときがある
- 6) 役立っていると思わない
- 7) その他 ()

【問20】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

- 1) 既に協力している
- 2) 可能な範囲で協力をしてみたい
- 3) 協力したいとは思わない
- 4) その他 ()

【問21】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

コメントの追加 [u9]:【意見】

・ふれあい対象者(気になる人)が、いろんな行事に来ないのが気になる…。いつも外に出ない人が、どのように考えているのかが知りたい。

・狭義で“ふれあい活動”ではなく、地域の活動(校区社協の取り組み、サロン等…“参加すること”)についてどのように考えているのかを聞きたい。

⇒地域の活動に協力してみたいと思いますか?みたいな聞き方に変えてもいいかも

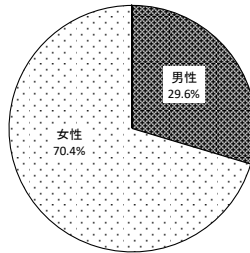
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

(3)実態調査集計結果

問 1 あなたの性別を教えてください。

(N=253)

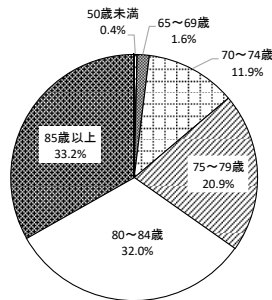
	回答数	割合
男性	75	29.6%
女性	178	70.4%



問 2 あなたの年齢を教えてください。

(N=253)

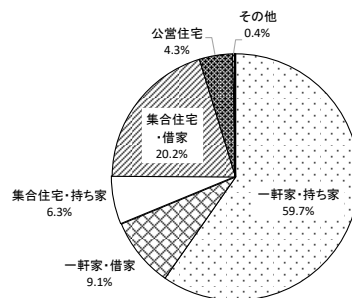
	回答数	割合
50歳未満	1	0.4%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	4	1.6%
70～74歳	30	11.9%
75～79歳	53	20.9%
80～84歳	81	32.0%
85歳以上	84	33.2%



問 3 居住形態を教えてください。

(N=253)

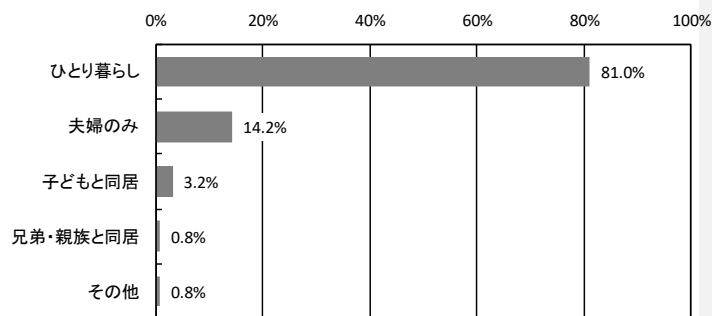
	回答数	割合
一軒家・持ち家	151	59.7%
一軒家・借家	23	9.1%
集合住宅・持ち家	16	6.3%
集合住宅・借家	51	20.2%
公営住宅	11	4.3%
その他	1	0.4%



問 4 家族構成を教えてください。

(N=253)

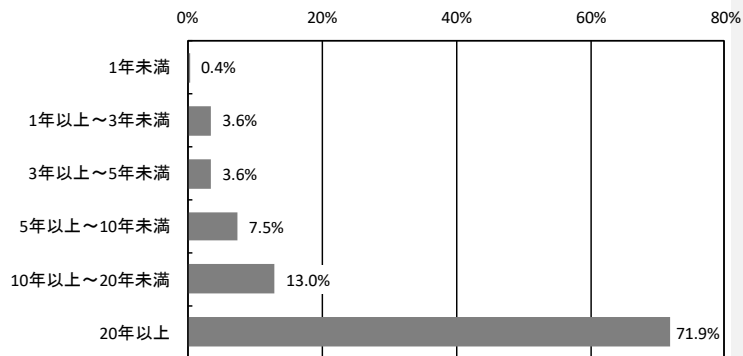
	回答数	割合
ひとり暮らし	205	81.0%
夫婦のみ	36	14.2%
子どもと同居	8	3.2%
兄弟・親族と同居	2	0.8%
その他	2	0.8%



問 5 今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

(N=253)

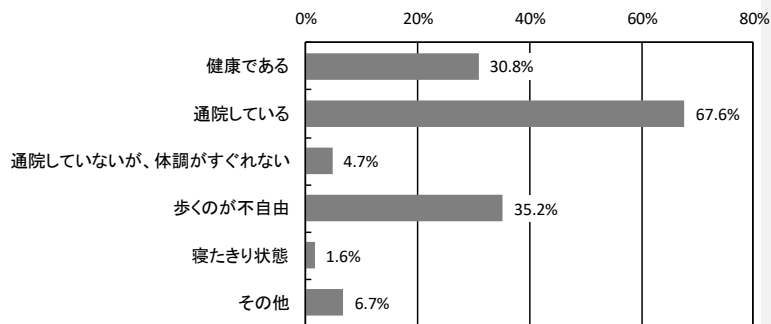
	回答数	割合
1年未満	1	0.4%
1年以上～3年未満	9	3.6%
3年以上～5年未満	9	3.6%
5年以上～10年未満	19	7.5%
10年以上～20年未満	33	13.0%
20年以上	182	71.9%



問 6 あなたの健康状態はどうか。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
健康である	78	30.8%
通院している	171	67.6%
通院していないが、体調がすぐれない	12	4.7%
歩くのが不自由	89	35.2%
寝たきり状態	4	1.6%
その他	17	6.7%



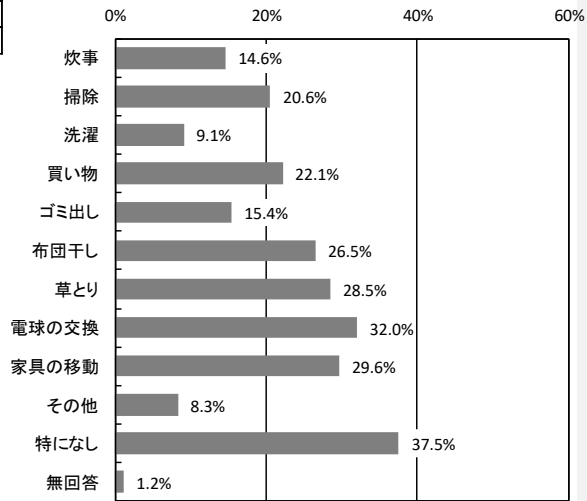
※複数回答 (%)

		サンプル数	健康である	通院している	体調がすぐれないが、 通院している	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他
全 体		253	30.8	67.6	4.7	35.2	1.6	6.7
年 齢 別	50歳未満	1	100.0	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	—	75.0	25.0	75.0	25.0	—
	70～74歳	30	36.7	53.3	10.0	13.3	—	6.7
	75～79歳	53	37.7	69.8	—	18.9	—	1.9
	80～84歳	81	23.5	72.8	4.9	40.7	2.5	9.9
85歳以上	84	32.1	66.7	4.8	46.4	1.2	7.1	

問 7 日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
炊事	37	14.6%
掃除	52	20.6%
洗濯	23	9.1%
買い物	56	22.1%
ゴミ出し	39	15.4%
布団干し	67	26.5%
草とり	72	28.5%
電球の交換	81	32.0%
家具の移動	75	29.6%
その他	21	8.3%
特になし	95	37.5%
無回答	3	1.2%



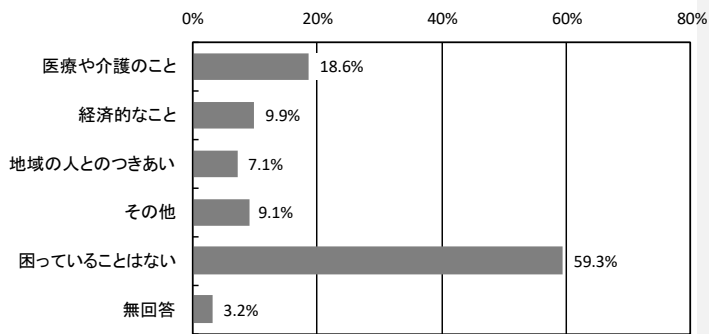
※複数回答 (%)

	サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答	
全体	253	14.6	20.6	9.1	22.1	15.4	26.5	28.5	32.0	29.6	8.3	37.5	1.2	
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	65～69歳	4	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	75.0	50.0	100.0	75.0	—	—	
	70～74歳	30	3.3	3.3	—	6.7	—	6.7	16.7	26.7	23.3	3.3	46.7	—
	75～79歳	53	9.4	9.4	3.8	15.1	3.8	20.8	18.9	24.5	20.8	3.8	50.9	—
	80～84歳	81	12.3	27.2	8.6	28.4	14.8	33.3	34.6	28.4	28.4	6.2	35.8	3.7
	85歳以上	84	22.6	26.2	15.5	25.0	27.4	28.6	32.1	38.1	35.7	15.5	29.8	—

問 8 | その他に、困ったことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
医療や介護のこと	47	18.6%
経済的なこと	25	9.9%
地域の人とのつきあい	18	7.1%
その他	23	9.1%
困っていることはない	150	59.3%
無回答	8	3.2%



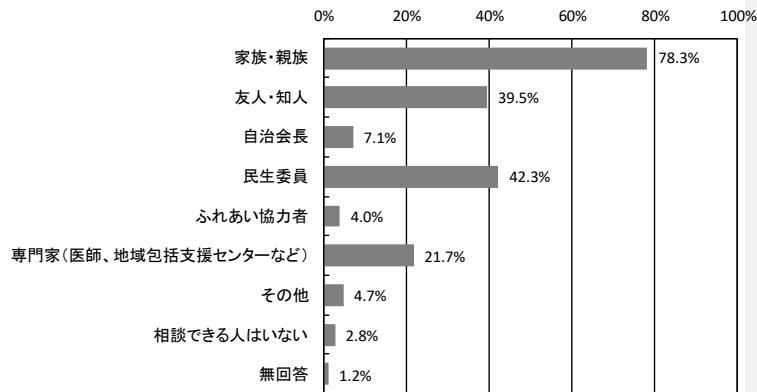
※複数回答 (%)

	サンプル数	医療や介護のこと	経済的なこと	地域の人とのつきあい	その他	困っていることはない	無回答	
全 体	253	18.6	9.9	7.1	9.1	59.3	3.2	
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	100.0	—	
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	
	65～69歳	4	25.0	25.0	25.0	—	50.0	—
	70～74歳	30	16.7	13.3	—	10.0	63.3	—
	75～79歳	53	13.2	5.7	5.7	9.4	67.9	1.9
	80～84歳	81	19.8	12.3	8.6	8.6	50.6	6.2
	85歳以上	84	21.4	8.3	8.3	9.5	60.7	2.4

問9 困った時に相談する相手はいますか。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
家族・親族	198	78.3%
友人・知人	100	39.5%
自治会長	18	7.1%
民生委員	107	42.3%
ふれあい協力者	10	4.0%
専門家(医師、地域包括支援センターなど)	55	21.7%
その他	12	4.7%
相談できる人はいない	7	2.8%
無回答	3	1.2%



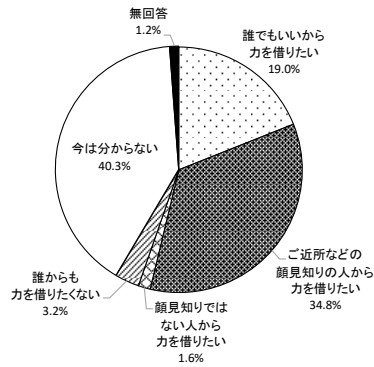
※複数回答 (%)

	サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家(医師、地域包括支援センターなど)	その他	相談できる人はいない	無回答	
全体	253	78.3	39.5	7.1	42.3	4.0	21.7	4.7	2.8	1.2	
性別	男性	75	72.0	28.0	4.0	38.7	8.0	18.7	6.7	4.0	—
	女性	178	80.9	44.4	8.4	43.8	2.2	23.0	3.9	2.2	1.7
年齢別	50歳未満	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	25.0	25.0	—	50.0	—	25.0	—	25.0	—
	70～74歳	30	66.7	50.0	—	43.3	3.3	3.3	6.7	3.3	—
	75～79歳	53	69.8	39.6	3.8	35.8	5.7	18.9	3.8	5.7	5.7
	80～84歳	81	84.0	35.8	6.2	42.0	2.5	27.2	1.2	—	—
85歳以上	84	84.5	39.3	13.1	46.4	4.8	25.0	8.3	2.4	—	

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。
------	--

(N=253)

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	48	19.0%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	88	34.8%
顔見知りではない人から力を借りたい	4	1.6%
誰からも力を借りたくない	8	3.2%
今は分からない	102	40.3%
無回答	3	1.2%



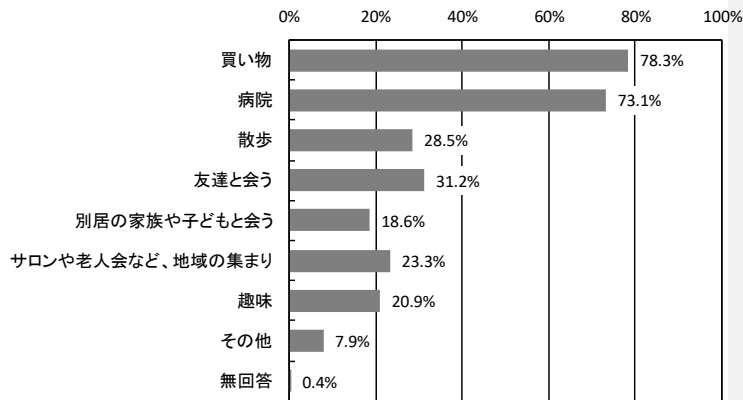
(%)

		サンプル数	誰でもいいから	ご近所などの	顔見知りではない人から	誰からも	今は	無
			借りたいから	顔見知りた	顔見知りた	借りた	分	回
			から	い	い	く	ら	答
				た	た	た	ら	
				い	い	く	な	
				い	い	く	い	
				い	い	く	い	
				い	い	く	い	
全 体		253	19.0	34.8	1.6	3.2	40.3	1.2
性 別	男性	75	22.7	26.7	2.7	6.7	41.3	—
	女性	178	17.4	38.2	1.1	1.7	39.9	1.7
年 齢 別	50歳未満	1	—	—	—	—	100.0	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	25.0	—	25.0	—	50.0	—
	70～74歳	30	20.0	30.0	—	3.3	46.7	—
	75～79歳	53	13.2	24.5	1.9	1.9	58.5	—
	80～84歳	81	19.8	30.9	1.2	4.9	40.7	2.5
	85歳以上	84	21.4	48.8	1.2	2.4	25.0	1.2

問 11 どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
買い物	198	78.3%
病院	185	73.1%
散歩	72	28.5%
友達と会う	79	31.2%
別居の家族や子どもと会う	47	18.6%
サロンや老人会など、地域の集まり	59	23.3%
趣味	53	20.9%
その他	20	7.9%
無回答	1	0.4%



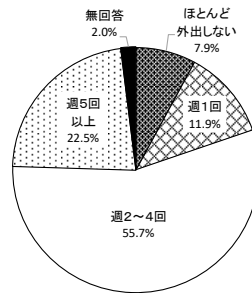
※複数回答 (%)

	サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答	
全 体	253	78.3	73.1	28.5	31.2	18.6	23.3	20.9	7.9	0.4	
性別	男性	75	78.7	70.7	34.7	14.7	10.7	18.7	20.0	12.0	—
	女性	178	78.1	74.2	25.8	38.2	21.9	25.3	21.3	6.2	0.6
年齢別	50歳未満	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	50.0	100.0	25.0	25.0	—	—	25.0	50.0	—
	70～74歳	30	90.0	56.7	26.7	43.3	30.0	13.3	26.7	6.7	—
	75～79歳	53	86.8	62.3	43.4	50.9	20.8	20.8	20.8	3.8	—
	80～84歳	81	79.0	79.0	21.0	27.2	16.0	27.2	24.7	7.4	1.2
85歳以上	84	69.0	79.8	27.4	17.9	16.7	26.2	15.5	9.5	—	

問 12 お出かけの頻度はどの位ですか。

(N=253)

	回答数	割合
ほとんど外出しない	20	7.9%
週1回	30	11.9%
週2～4回	141	55.7%
週5回以上	57	22.5%
無回答	5	2.0%



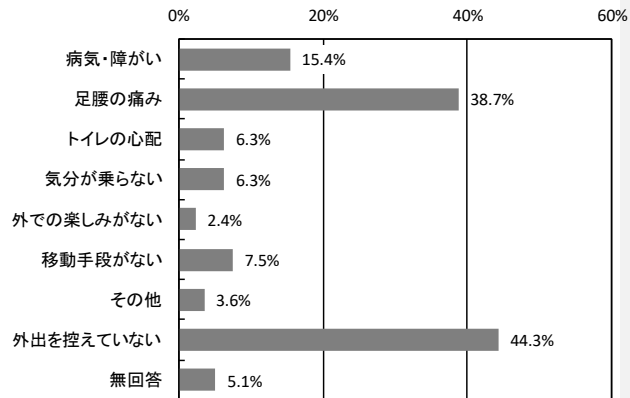
(%)

		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全 体		253	7.9	11.9	55.7	22.5	2.0
性別	男性	75	12.0	8.0	48.0	30.7	1.3
	女性	178	6.2	13.5	59.0	19.1	2.2
年齢別	50歳未満	1	—	100.0	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	25.0	25.0	50.0	—	—
	70～74歳	30	—	10.0	53.3	36.7	—
	75～79歳	53	1.9	9.4	64.2	24.5	—
	80～84歳	81	7.4	13.6	51.9	22.2	4.9
85歳以上	84	14.3	10.7	56.0	17.9	1.2	

問 13 以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
病気・障がい	39	15.4%
足腰の痛み	98	38.7%
トイレの心配	16	6.3%
気分が乗らない	16	6.3%
外での楽しみがない	6	2.4%
移動手段がない	19	7.5%
その他	9	3.6%
外出を控えていない	112	44.3%
無回答	13	5.1%



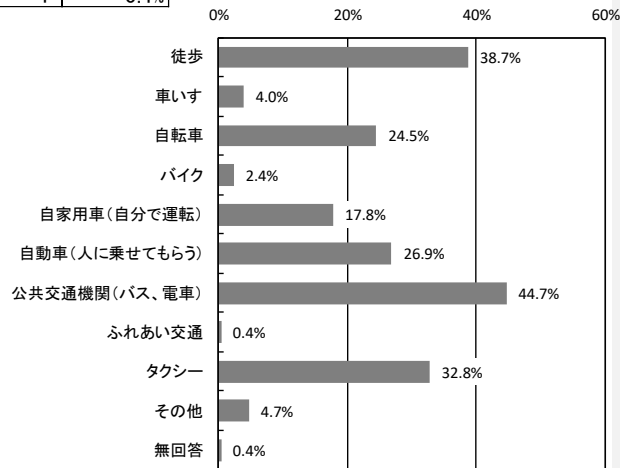
※複数回答 (%)

	サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全 体	253	15.4	38.7	6.3	6.3	2.4	7.5	3.6	44.3	5.1
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	50.0	25.0	—	25.0	25.0	—	25.0	—
	70～74歳	30	10.0	20.0	6.7	10.0	—	—	10.0	60.0
	75～79歳	53	17.0	28.3	5.7	7.5	1.9	3.8	1.9	56.6
	80～84歳	81	14.8	50.6	3.7	3.7	2.5	4.9	1.2	38.3
	85歳以上	84	15.5	41.7	9.5	6.0	2.4	14.3	4.8	38.1

問 14 外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
徒歩	98	38.7%
車いす	10	4.0%
自転車	62	24.5%
バイク	6	2.4%
自家用車(自分で運転)	45	17.8%
自動車(人に乗せてもらう)	68	26.9%
公共交通機関(バス、電車)	113	44.7%
ふれあい交通	1	0.4%
タクシー	83	32.8%
その他	12	4.7%
無回答	1	0.4%



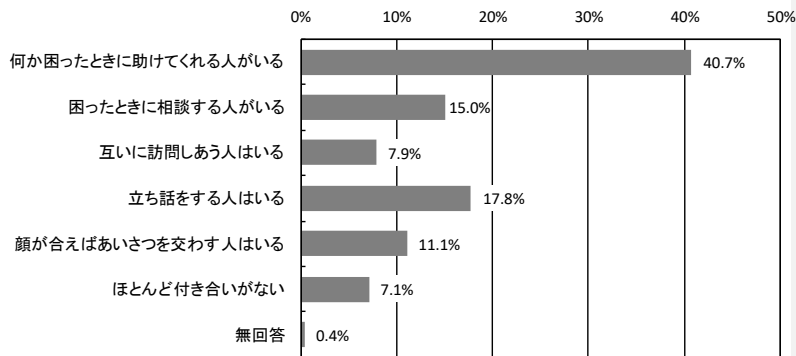
※複数回答
(%)

	サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	公共交通機関 (バス、電車)	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答	
全 体	253	38.7	4.0	24.5	2.4	17.8	26.9	44.7	0.4	32.8	4.7	0.4	
年 齢 別	50歳未満	1	100.0	—	100.0	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	25.0	25.0	50.0	—	25.0	—	25.0	—	75.0	—	—
	70～74歳	30	16.7	—	53.3	6.7	30.0	16.7	60.0	—	3.3	—	—
	75～79歳	53	47.2	—	22.6	3.8	26.4	17.0	54.7	—	20.8	3.8	—
	80～84歳	81	44.4	1.2	17.3	1.2	17.3	27.2	44.4	—	37.0	2.5	1.2
	85歳以上	84	35.7	9.5	20.2	1.2	8.3	36.9	34.5	1.2	44.0	9.5	—

問 15 あなたは、日頃、一番親しい近所の人との程度の付き合いをしていますか。

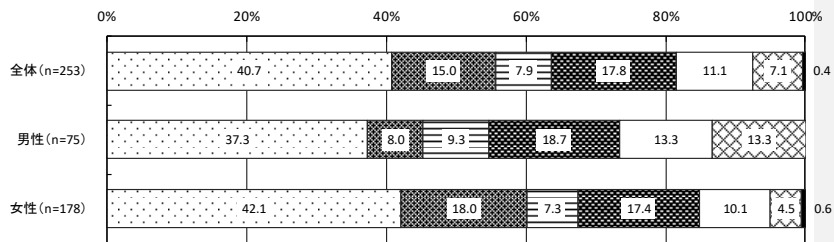
(N=253)

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	103	40.7%
困ったときに相談する人がいる	38	15.0%
互いに訪問しあう人はいる	20	7.9%
立ち話をする人はいる	45	17.8%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	28	11.1%
ほとんど付き合いがない	18	7.1%
無回答	1	0.4%



(%)

	サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全体	253	40.7	15.0	7.9	17.8	11.1	7.1	0.4
性別								
男性	75	37.3	8.0	9.3	18.7	13.3	13.3	—
女性	178	42.1	18.0	7.3	17.4	10.1	4.5	0.6

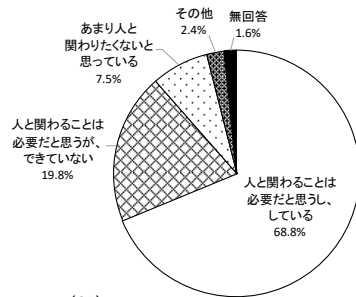


- 何か困ったときに助けてくれる人がいる
- 困ったときに相談する人がいる
- 互いに訪問しあう人はいる
- 立ち話をする人はいる
- 顔が合えばあいさつを交わす人はいる
- ほとんど付き合いがない
- 無回答

問 16 日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

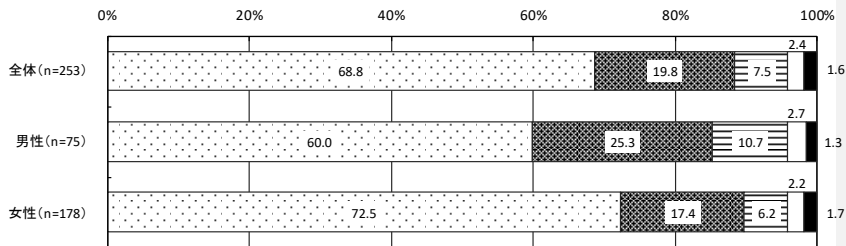
(N=253)

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	174	68.8%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	50	19.8%
あまり人と関わりたくないと思っている	19	7.5%
その他	6	2.4%
無回答	4	1.6%



(%)

	サンプル数	人と関わることは必要だと思 うし、している	人と関わることは必要だと思 うが、できていない	あまり人と関わりたく ない	その他	無 回 答
全 体	253	68.8	19.8	7.5	2.4	1.6
性 別						
男性	75	60.0	25.3	10.7	2.7	1.3
女性	178	72.5	17.4	6.2	2.2	1.7

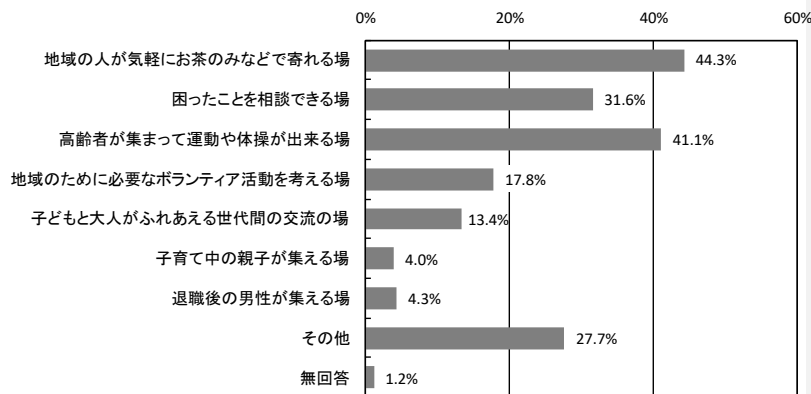


- 人と関わることは必要だと思し、している
- ▨ 人と関わることは必要だと思が、できていない
- ▤ あまり人と関わりたくないと思っている
- その他
- 無回答

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。(〇はいくつでも)
------	---

(N=253)

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	112	44.3%
困ったことを相談できる場	80	31.6%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	104	41.1%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	45	17.8%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	34	13.4%
子育て中の親子が集える場	10	4.0%
退職後の男性が集える場	11	4.3%
その他	70	27.7%
無回答	3	1.2%



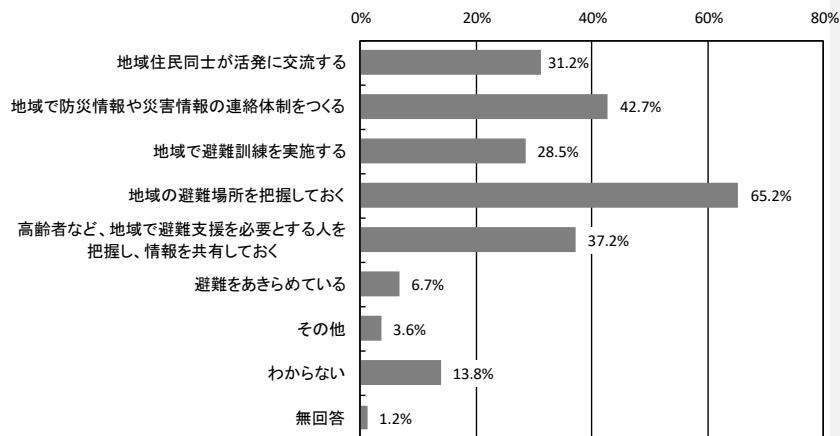
※複数回答
(%)

	サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	世代間交流の場	子どもと大人がふれあえる場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全体	253	44.3	31.6	41.1	17.8	13.4	4.0	4.3	27.7	1.2	
性別	男性	75	45.3	32.0	34.7	17.3	18.7	6.7	9.3	24.0	1.3
	女性	178	43.8	31.5	43.8	18.0	11.2	2.8	2.2	29.2	1.1
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	—	50.0	25.0	—	—	—	—	50.0	—
	70～74歳	30	50.0	33.3	43.3	26.7	13.3	6.7	6.7	10.0	—
	75～79歳	53	45.3	24.5	41.5	15.1	9.4	1.9	3.8	30.2	—
	80～84歳	81	42.0	27.2	42.0	14.8	16.0	3.7	3.7	34.6	2.5
85歳以上	84	46.4	39.3	40.5	20.2	14.3	4.8	4.8	23.8	1.2	

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)
------	--

(N=253)

	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	79	31.2%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	108	42.7%
地域で避難訓練を実施する	72	28.5%
地域の避難場所を把握しておく	165	65.2%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	94	37.2%
避難をあきらめている	17	6.7%
その他	9	3.6%
わからない	35	13.8%
無回答	3	1.2%



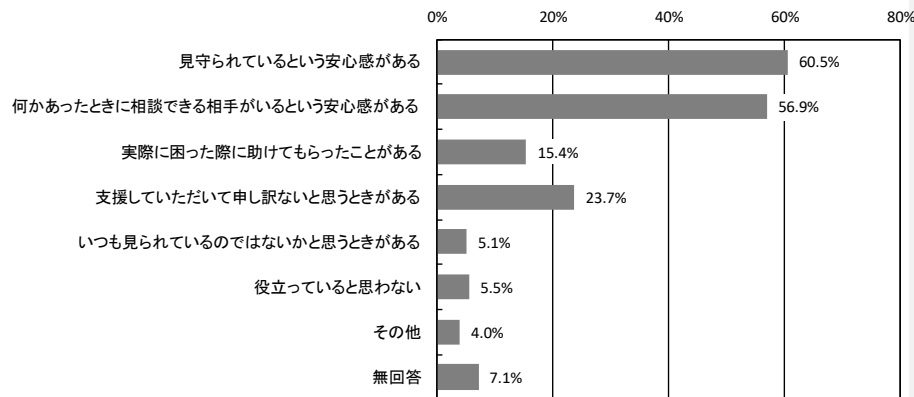
※複数回答
(%)

	サンプル数	地域交流する住民同士が活発に	連絡体制をつくる	地域で防災情報や災害情報の	地域で避難訓練を実施する	把握しておく避難場所を	情報共有を必要とする人を把握し、	高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、	避難をあきらめている	その他	わからない	無回答
全体	253	31.2	42.7	28.5	65.2	37.2	6.7	3.6	13.8	1.2		
年齢別	50歳未満	1	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	65～69歳	4	25.0	50.0	—	50.0	50.0	25.0	—	—	—	
	70～74歳	30	33.3	43.3	33.3	70.0	40.0	3.3	—	6.7	—	
	75～79歳	53	30.2	41.5	28.3	52.8	32.1	3.8	3.8	11.3	1.9	
	80～84歳	81	24.7	38.3	23.5	59.3	34.6	6.2	4.9	18.5	2.5	
	85歳以上	84	38.1	47.6	33.3	77.4	41.7	9.5	3.6	13.1	—	

問 19 「ふれあい活動(見守り、声かけ活動)」で、感じることを教えてください。(〇はいくつでも)

(N=253)

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	153	60.5%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	144	56.9%
実際に困った際に助けてもらったことがある	39	15.4%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	60	23.7%
いつも見られているのではないかと思うときがある	13	5.1%
役立っていると思わない	14	5.5%
その他	10	4.0%
無回答	18	7.1%



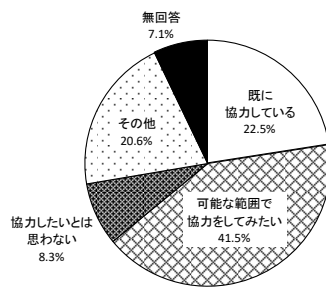
※複数回答 (%)

	サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答	
全体	253	60.5	56.9	15.4	23.7	5.1	5.5	4.0	7.1	
年齢別	50歳未満	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	
	65～69歳	4	100.0	75.0	25.0	25.0	—	—	—	
	70～74歳	30	63.3	46.7	13.3	23.3	10.0	—	3.3	6.7
	75～79歳	53	56.6	58.5	18.9	15.1	—	9.4	—	5.7
	80～84歳	81	51.9	50.6	12.3	27.2	4.9	3.7	4.9	12.3
	85歳以上	84	67.9	65.5	16.7	25.0	7.1	7.1	6.0	3.6

問 20 あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

(N=253)

	回答数	割合
既に協力している	57	22.5%
可能な範囲で協力してみたい	105	41.5%
協力したいとは思わない	21	8.3%
その他	52	20.6%
無回答	18	7.1%



(%)

		サンプル数	既に協力している	可能な範囲で協力してみたい	協力したいとは思わない	その他	無回答
全 体		253	22.5	41.5	8.3	20.6	7.1
性別	男性	75	26.7	41.3	8.0	20.0	4.0
	女性	178	20.8	41.6	8.4	20.8	8.4
年齢別	50歳未満	1	—	100.0	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	—	50.0	—	25.0	25.0
	70～74歳	30	23.3	53.3	10.0	10.0	3.3
	75～79歳	53	15.1	50.9	13.2	15.1	5.7
	80～84歳	81	27.2	33.3	4.9	23.5	11.1
85歳以上	84	23.8	38.1	8.3	25.0	4.8	

鶴崎校区社会福祉協議会 地域福祉活動計画

発行日	令和元年6月
発行	鶴崎校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分4階 TEL 097-547-7418